

## 福岡県におけるブドウ園土壌の実態調査 (第2報) 行橋・豊前地区

畠中 洋・松本明芳

(福岡県園芸試験場)

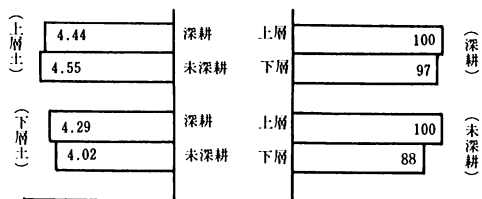
HATANAKA, H. and MATSUMOTO, A.  
Grape Orchard Soils in Fukuoka Prefecture.  
(II) The Yukuhashi and Buzen Areas.

本県のブドウ園の土壌実態調査を昭和43年に開始した。本報告は昭和44年11月に行橋・豊前地区を調査したものを取まとめたものである。

### 調査方法

品種はキャンベルとし、約10年生の園を10haに1点の割で選定した。選定は担当普及所員、豊前分場技師により行なわれ、優良園、不良園にわけた。ほぼ園の中央に深耕未深耕の境が出るように穴を掘り深耕部の原土が見えるまで掘りさげた。採土は深耕未深耕部をそれぞれ上下二層にわけて行ない、化学分析を地力保全調査要綱に準じて行なった。優良不良園の差の取まとめは深耕部土壌のみ行なった。

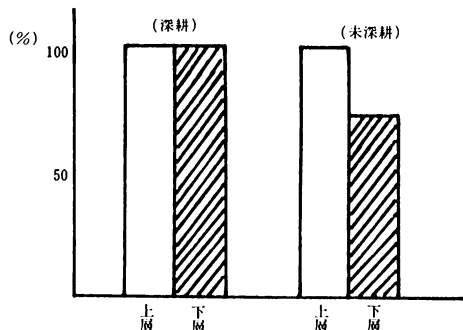
### 成績および考察



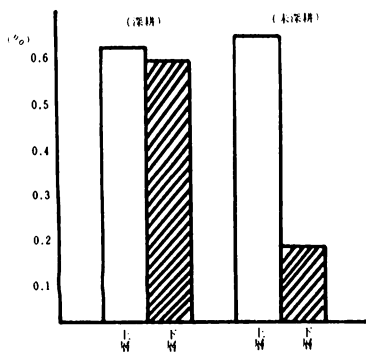
第1図 PH (Kcl) の比較

1. 深耕, 未深耕部の差について: 土壌反応の差は明らかでないが、上下層の比に書き直してみると未深耕部では上層に比して下層のpHがかなり低くなっている。置換性Caも未深耕部の上下層が著しい。有機物は深耕未深耕部の差が下層土で著しいのが認められた。

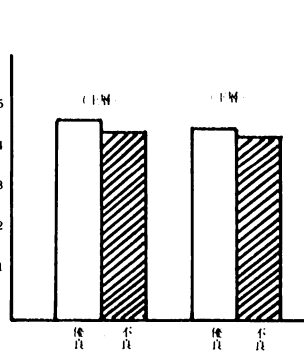
2. 優良園, 不良園の差について: 土壌反応では差が認められなかったがこれは全体に酸性が強すぎてその差が出る事が出来なかったものとする。置換性塩基ではK, Caが優良園において高いのが認められたが、Kについては極端に高い値なのでこれがそのまゝ、優良園につながっているとは考えられないと思う。



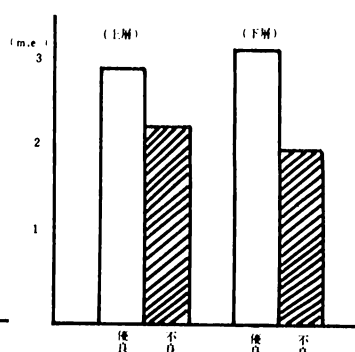
第2図 置換性カルシウムの比較



第3図 全炭素の比較



第4図 PH (Kcl) の比



第5図 置換性カルシウムの比較